



橋北中 HP

2学期の最初に皆さんに問う

## 学校がつらい人たちへ

休む勇氣

休ませる勇氣



2学期が始まりました。全校生徒の元気な顔が見えて、ひとまず安心しました。しかし、もしかすると、無理に笑顔を作って登校している人がいるかもしれません。また、毎日ではなくても、「学校に行きたくないなあ。」と思う時ってありますよね。

### 積極的に学校を休む勇氣

私（校長）が、学級担任をしていた15年くらい前の教育相談の場の会話です。

山内：「時々、欠席するけど、何か原因があるの？」

生徒A：「・・・。」

山内：（あれ？聞いてちゃいけないことだったのかな？）

生徒A：「（勇氣を振り絞って）私、お母さんと相談して、1か月に1回は休んでいいことにしているんです。」

「ちょっと、（心や身体が）弱っているなあ。と思うときに休憩をとります。」

でも、1日だけって、決めているんです。」

山内：「へ～。そうなんだ。ごめん。全然そういう風には見えなかった・・・。」

生徒A：「大丈夫です。中1の時からなので・・・。」



その頃の私は、「学校は無理してでも行くところだ。」「病気でも用事でもないのに休むなんて、ずる休みじゃないか。」と思っていました。でも、この生徒との会話の後に考えが変わりました。

- ✚ 普段明るく過ごしている子でも、実は、無理して登校しているんだなあ。
- ✚ 自分の体調や心の状態を自分でつかみ、自分で休憩が入れられるって、かっこいいな。
- ✚ 休むこととサボることは、当たり前だけ違うよな。

### 学校がつらい理由は、人それぞれ

丁度、それくらいの頃から『中1ギャップ』という言葉が生まれ、中学校生活になじめず、疲れてしまう生徒が増えていることが問題となりました。今では、もっと低年齢化しているようにも思えますし、最悪なことには、自らの命を絶ってしまう児童・生徒も増えているようなのです。

その原因は人それぞれです。

- ① 人間関係の悩み
- ② いじめ
- ③ 勉強がわからなくなった
- ④ 将来への不安 などなど

みんな同じ活動をしていても、感じ方は様々ですし、得意・不得意もあります。「（他の子ができているのに）何で、うちの子だけが・・・。」と思われる保護者の方も見えるでしょう。しかし、

**みんなに同じことをさせて、同じ成果を得られるように頑張らせる。**

このこと自体を疑うときが来ているのです。

## 今をみつめること、未来を見つめること

当然、気力・体力にも個人差があります。そして、気力（Willpower）も充電が必要ですし、無駄に使いたくはありません。他人と比べるのではなく、自分の今の状態と相談するべきです。

欠席が続くと、将来のことが不安になるのも良くわかります。でも、変化の激しい、予測困難な世の中というのは、**今までの当たり前が通用しない**ということでもあります。しかも、人生100年時代です。人生の歩き方は色々あっていいし、長い人生どこかで休憩するのもいい。これも一つの体験として、次に繋がっていけばいいと思うのですが、いかがでしょうか？

### 中学生の皆さんへ

ここまで読んでどんなことを思いましたか。

「学校が辛い人」に対して、「個人の問題なので、それぞれが努力して乗り越えればいい。」と考えるならば、それは浅い考え方です。

その原因の多くが（いじめも含めて）人間関係にあるのならば、その改善をしていくのは、皆さん全員の仕事です。

誰もが居心地の良いクラスにする・・・というのは、「誰もが辛い思いを隠してガマンすること」ではありません。

ちなみに、最初に出てきた生徒Aさんは、学級の力が付いてくるにつれ、欠席がなくなりました。私にとっても、記憶に残る学級となりました。



### 四日市市学校給食協会

令和5年度から始まる中学校給食。その準備も含め、市内の給食の業務を行っていただいています。今までの施設が古くなったこともあり、新しい給食センターができるまでの間、本校管理棟1階の会議室で、お仕事をさせていただくこととなりました。

生徒の皆さんは、しっかりとあいさつしようね。



### グラウンド整備（除草作業）のお願い

ご存じの通り、グラウンドが草だらけ。いよいよ教育活動に支障が現れてきました。そこで、皆さんの力をお借りして草を一掃します。どうか、助けてください！！

○日時 9月18日（日）8：00～ ※保護者は8：30～ 1時間程度

○草を抜く道具、軍手

※熱中症対策をして、お越しくください。